

「明日を拓く宮古のみち女性の会」が 三陸沿岸道路等を視察します ～復興道路等工事の最前線を現場見学～

復興道路（三陸沿岸道路）・復興支援道路（宮古盛岡横断道路）は、震災復興のリーディングプロジェクトとして、従来にないスピードで事業を進めているところです。

このたび、「明日を拓く宮古のみち女性の会」から、道路の必要性や知識を深め広い視野で提言できる会となることを目的として、三陸沿岸道路等を見学したいとのご要望を受け、24名の皆さまのご参加を得て、現場見学会を開催します。

*「明日を拓く宮古のみち女性の会」は、宮古地域の三陸沿岸道路をはじめとする道路ネットワークの早期の完成を目指すことを目的とする組織で、女性の視点から道路整備への提言などを行っております。

- 開催日時：平成26年11月26日（水）9:00～12:30
- 視察場所：宮古田老道路・宮古箱石道路 千徳小山田道路工事現場 9:15頃
山田宮古道路 山田第2トンネル工事現場 10:05頃
釜石山田道路 小釜第1トンネル工事現場 11:30頃
- 参加者：明日を拓く宮古のみち女性の会 24名を予定
- 集合場所：宮古市役所 駐車場（集合時間 8:50）

《発表記者会：岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ、釜石記者クラブ、東北専門記者会、》

問い合わせ先

【明日を拓く宮古のみち女性の会に関する問い合わせ】

宮古市 都市整備部 建設課 明日を拓く宮古のみち女性の会 事務局
復興道路推進室長 福士 満郎（内線3621） 電話0193-62-2111（代表）

【三陸沿岸道路（田老宮古道路、山田宮古道路）に関する問い合わせ】

国土交通省東北地方整備局 三陸国道事務所
副 所 長 戸嶋 守（内線204） 電話0193-62-1711（代表）

【三陸沿岸道路（釜石山田道路）に関する問い合わせ】

国土交通省東北地方整備局 南三陸国道事務所
副 所 長 山口 満（内線204） 電話0193-28-4731（代表）

宮古田老道路（宮古中央～田老）の概要

路線概要

三陸沿岸道路「宮古田老道路（宮古中央～田老）」は、宮古市松山から宮古市田老を結ぶ約21kmの自動車専用道路です。

現道の線形不良区間、津波浸水区間を回避し、走行性が向上するとともに、所要時間の短縮により救援物資の輸送拠点となる久慈港と宮古市間のアクセス性向上、救急医療施設への速達性向上等の効果が期待されます。

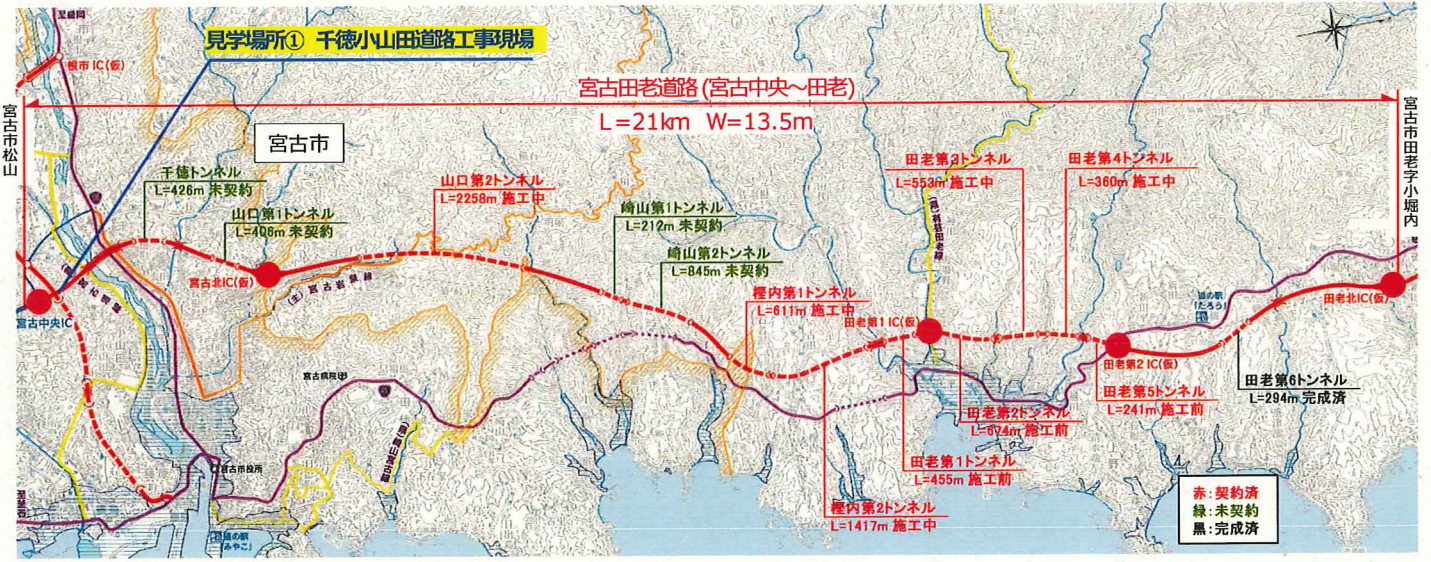
平成26年度は、用地買収等を進め、改良工事、トンネル工事、橋梁工事を実施予定です。

計画諸元

宮古田老道路 (宮古中央～田老)	
起 点	宮古市松山
終 点	宮古市田老字小堀内
延 長	21km
幅 員	2車線 13.5m
構造規格	第1種第3級
設計速度	80km/h



宮古中央IC付近(北側を望む)



- 東日本大震災では、津波被害により国道45号等の幹線道路の一部が被災し、多くの箇所で通行止が発生
- 宮古田老道路は、大規模災害時でも寸断されない強靱で信頼性の高い道路ネットワークを形成



写真① 宮古市田老地区



写真② 宮古市磯鶏地区

宮古田老道路
L = 21 km

迅速で安定した救急搬送で、安全・安心な住民生活に寄与

- 宮古保健医療圏(宮古市、岩泉町、田野畑村、山田町)の第二次救急医療施設は県立宮古病院のみだが、国道45号には急カーブ等が多く、救急搬送時に大きな課題
- 宮古田老道路の整備により、迅速かつ安定的な救急搬送を実現し、安全安心な住民生活に寄与

▼現道の隘路状況

宮古田老道路 L = 21 km



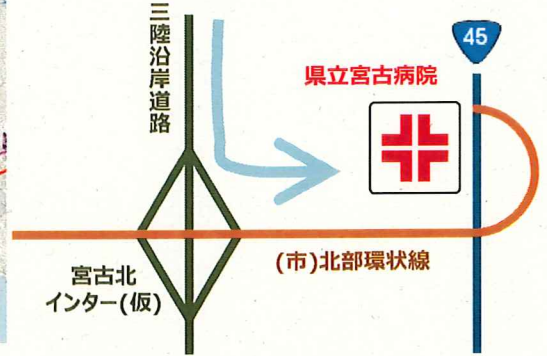
- : 急カーブ箇所 (平面曲線半径150m未満箇所)
- △ : 急勾配箇所 (縦断勾配5%以上区間)

宮古～田老区間の国道45号

宮古田老道路



▼宮古病院へのアクセスルート



岩泉町から県立宮古病院への搬送時間
現在 約50分 ⇒ 将来 約35分

新たな観光ルートの誕生で観光振興に期待

- 三陸沿岸地域は、ジオパーク、復興国立公園に指定され、魅力的な観光資源が数多く点在
- 三陸沿岸道路の整備で、高規格道路による広域周遊ルートが形成され観光振興に期待



内陸の観光地



八幡平 (八幡平市)
 入込客数186万人/年

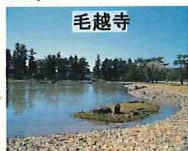


遠野盆地 (遠野市)
 入込客数154万人/年



風勝地 (北上市)
 入込客数77万人/年

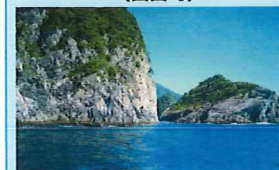
世界遺産 平泉 (平泉町)
 入込客数208万人/年



三陸復興国立公園



浄土ヶ浜 (宮古市)



北山崎 (田野畑村)



龍泉洞 (岩泉町)

三陸ジオパーク



小袖海岸 (久慈市)



北山崎 (田野畑村)



龍泉洞 (岩泉町)

※資料:平成21年 岩手県観光統計概要

宮古箱石道路（宮古～箱石）の概要

参考

路線概要

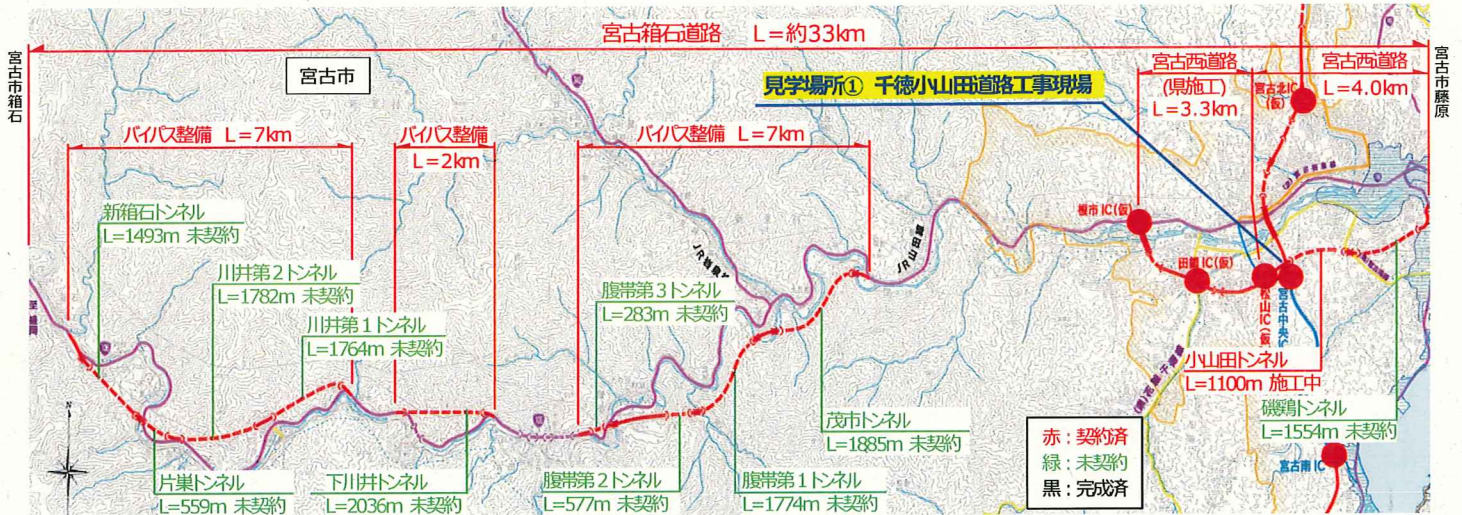
宮古盛岡横断道路は、宮古市と盛岡市を結ぶ全長約100kmの地域高規格道路であり、そのうち「宮古箱石道路(宮古～箱石)」は宮古市藤原から箱石間の約33kmにおいて、岩手県より権限代行で整備する区間です。

国道106号の線形不良区間を回避し、走行性が向上するとともに、所要時間の短縮により県都盛岡市と宮古市間のアクセス性向上、救急医療施設への速達性向上等の効果が期待されます。

平成26年度は、用地買収等を進め、改良工事、橋梁工事、トンネル工事を実施予定です。

計画諸元

宮古箱石道路(宮古～箱石)	
起点	宮古市藤原
終点	宮古市箱石
延長	33km
工区	(宮古西道路)※保施工分 (夜半復旧工区、下川井工区、川井箱石工区)
幅員	2車線 13.5m 2車線 12.0m
構造規格	第1種第3級 第3種第2級
設計速度	80km/h 60km/h

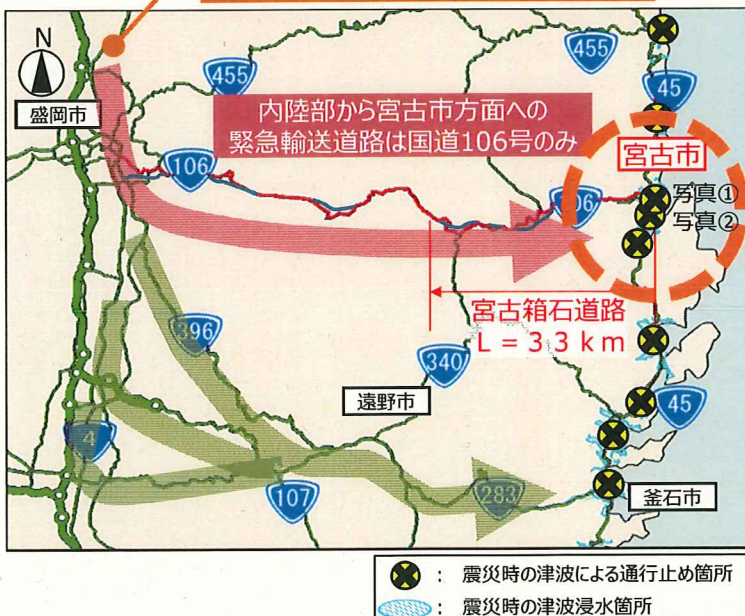


災害時における緊急輸送路の確保

- 東日本大震災では、津波被害により幹線道路の一部が被災し、多くの箇所で通行止めが発生
- 宮古箱石道路は、大規模災害時の緊急物資輸送や迅速な復旧活動を支援

▼三陸沿岸地域への緊急輸送道路

岩手県の緊急支援物資物流拠点 (滝沢市)
 (国道106号 救援支援物資輸送612回
 3月12日～4月末: 県トラック協会契約分)



▼津波により寸断された国道

写真① 宮古市愛宕交差点



写真② 宮古市磯鶏地区



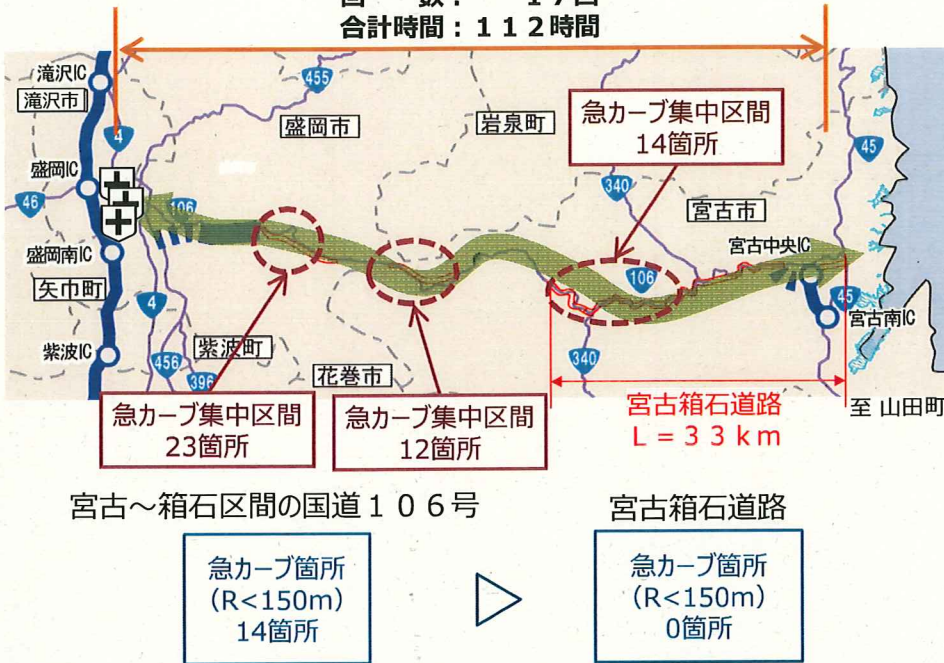
迅速な救急搬送で安全・安心な住民生活に寄与

- 宮古地域の管外搬送の約95%は、盛岡市内の高度医療施設へ救急搬送
- 宮古箱石道路は、迅速かつ安定的な救急搬送を実現し、安全・安心な住民生活に寄与

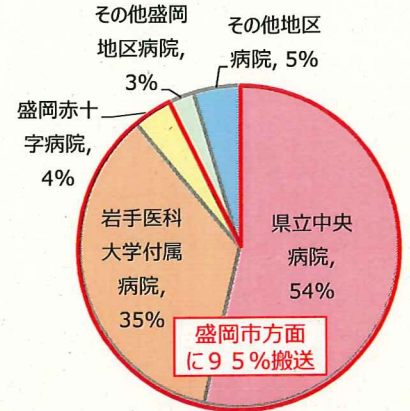
▼国道106号は線形不良箇所（急カーブ等）が多い

全面通行止（過去10年間）

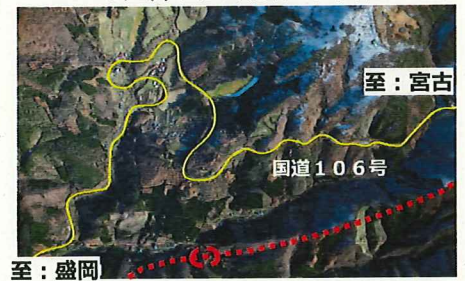
回数：17回
合計時間：112時間



▼宮古地域の管外搬送状況



▼区界地区の急カーブ状況



新たな観光ルートの誕生で観光振興に期待

- 三陸沿岸地域は、ジオパーク、復興国立公園に指定され、魅力的な観光資源が数多く点在
- 宮古盛岡横断道路の整備で、高規格道路による広域周遊ルートが形成され観光振興に期待



※資料：平成21年 岩手県観光統計概要

山田宮古道路 (山田～宮古南) L = 14 km

路線概要

三陸沿岸道路「山田宮古道路(山田～宮古南)」は、山田町山田から宮古市金浜を結ぶ約14kmの自動車専用道路です。現道の線形不良区間、津波浸水区間を回避し、走行性が向上するとともに、所要時間の短縮により主要港湾(釜石港)へのアクセス性向上、救急医療施設への速達性向上等の効果が期待されます。

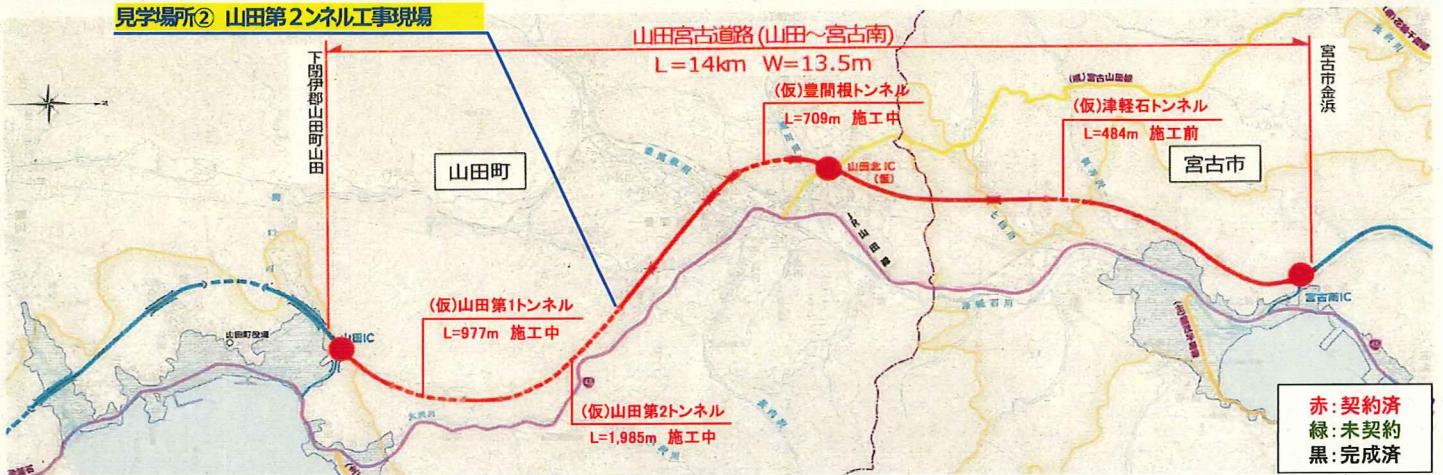
平成26年度は、用地買収等を進め、改良工事、トンネル工事、橋梁工事を実施予定で、平成29年度の供用を目指します。

計画諸元

	山田宮古道路 (山田～宮古南)
起 点	下閉伊郡山田町山田
終 点	宮古市金浜
延 長	14km
幅 員	2車線 13.5m
構造規格	第1種第3級
設計速度	80km/h



山田北IC(仮)付近から宮古河を渡る



津波浸水区域を回避し、緊急輸送道路の信頼性を確保

- 東日本大震災では、津波被害により国道45号等の幹線道路の一部が被災し、多くの箇所で通行止が発生
- 山田宮古道路は、大規模災害時でも寸断されない強靱で信頼性の高い道路ネットワークを形成

▼山田町～宮古市間経路



▼津波により寸断された国道

写真① 宮古市津軽石地区



写真② 山田町大沢地区



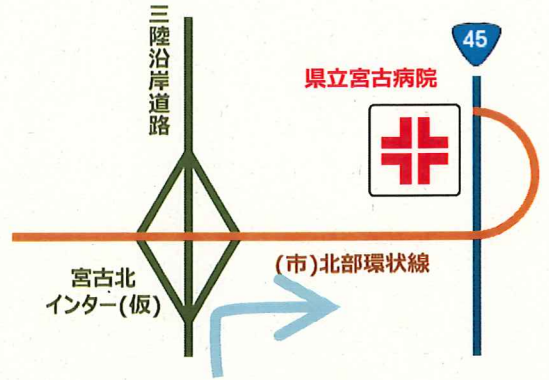
迅速で安定した救急搬送で、安全・安心な住民生活に寄与

- 宮古保健医療圏(宮古市、岩泉町、田野畑村、山田町)の第二次救急医療施設は県立宮古病院のみだが、国道45号には急カーブ等が多く、救急搬送時に大きな課題
- 山田宮古道路の整備により、迅速かつ安定的な救急搬送を実現し、安全安心な住民生活に寄与

▼現道の隘路状況



▼宮古病院へのアクセスルート



- : 急カーブ箇所 (平面曲線半径150m未満箇所)
- △ : 急勾配箇所 (縦断勾配5%以上区間)

山田～宮古区間の国道45号

山田宮古道路

急カーブ箇所
(R < 150m)
10箇所



急勾配箇所
(i > 5%)
1,840m



急カーブ箇所 (R < 150m)
急勾配箇所 (i > 5%)
0箇所

山田町から県立宮古病院への搬送時間
現在 約40分 ⇒ 将来 約20分

新たな観光ルートの誕生で観光振興に期待

- 三陸沿岸地域は、ジオパーク、復興国立公園に指定され、魅力的な観光資源が数多く点在
- 三陸沿岸道路の整備で、高規格道路による広域周遊ルートが形成され観光振興に期待



釜石山田道路（釜石JCT（仮）～山田南）の概要

参考

路線概要

三陸沿岸道路「釜石山田道路」は、釜石市甲子町第13地割（釜石JCT（仮））から下閉伊郡山田町船越（山田南IC）を結ぶ延長23.0kmの自動車専用道路です。
 この区間のうち、釜石両石IC～釜石北IC間（延長4.6km）は平成23年3月5日開通しています。また、釜石JCT（仮）において、東北横断自動車道釜石秋田線（釜石～釜石）と連結されます。
 平成26年度は、用地買収等を進め、改良工事、トンネル工事、橋梁工事を実施する予定です。

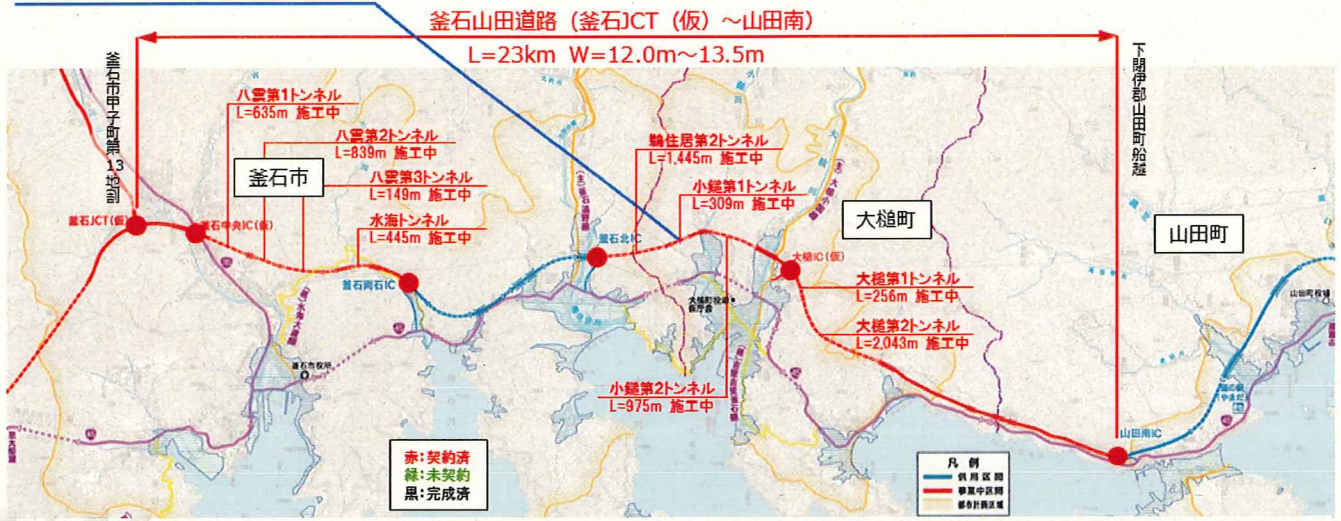
計画諸元

釜石山田道路	
起点	釜石市甲子町第13地割
終点	下閉伊郡山田町船越
延長	23.0km
幅員	2車線 12.0m～13.5m（事業中） ※一部開通済
構造規格	第1種第3級
設計速度	80km/h



山田町IC付近（南側を望む）

見学場所③ 小釜第1トンネル工事現場



効果①：津波浸水区間を回避し、緊急輸送道路の信頼性確保

- 東日本大震災では、津波被害により国道45号等の幹線道路の一部が流失し、多くの箇所で通行止が発生
- 釜石山田道路は、大規模災害時においても寸断されない強靱で信頼性の高い道路ネットワークを形成



▼津波により寸断された国道
 ▼写真① 国道45号大槌町浪板地区（平成23年3月12日）



▼写真② 国道45号釜石市両石地区（平成23年3月12日）

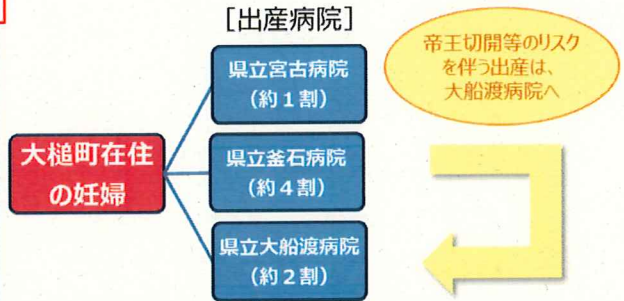


効果②：迅速な救急搬送で、安全・安心な住民生活に寄与

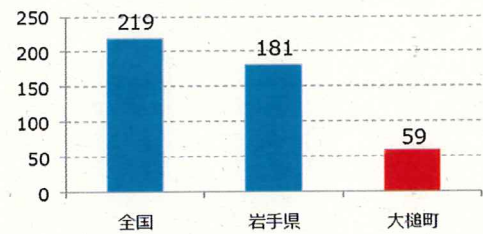
- 県立釜石病院の帝王切開などのリスクを伴う出産については、県立大船渡病院まで搬送する連携システムを構築しているが、国道45号には急カーブ等の救急搬送時の課題が多く存在
- 釜石山田道路は、迅速かつ安定的な救急搬送を実現し、安全・安心な住民生活に寄与



▼ 出産病院の主な内訳 (大槌町在住者)



▼ 人口10万対医師数



効果③：新たな観光ルートの誕生で観光振興に期待

- 三陸沿岸地域は、三陸ジオパーク、復興国立公園に指定されるなど、魅力的な観光資源が数多く点在
- 高規格道路による広域周遊ルートの形成で観光振興に期待

